

令和4年度門真市保健福祉センター内 門真市障がい者福祉センター指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和3年度

施設のサービス水準の視点コメント

新型コロナウイルス感染症が依然流行している状況ではあったが、生活介護の利用延べ人数は令和2年度に比べて令和3年度は131人増加し、日平均は0.8人の増加となり、また放課後等デイサービスの重症心身障がい児対象クラスにおいても利用延べ人数は606人増加し、日平均は2.2人の増加となった点について評価する。新型コロナウイルス感染症により長期間当センターの利用を自粛していた方に対しても、頻回に連絡を取り訪問を重ねたことで安心して利用を再開されたケースもあった。利用者に定期的なモニタリングを行うことでニーズを把握し、定期的な利用の促しを行ったため利用日数の増加に繋がった点について評価する。

収支状況 コメント

新型コロナウイルス感染症が依然流行している状況ではあったが、定期自宅訪問や不定期利用の促し等を行ったため、前年度に比べると収入が増大した。支出については、前年度は新型コロナウイルス感染症が拡大した影響により職員の雇用の減少や休職も増加したため人件費が例年より低くなったが、令和3年度は職員の雇用も増員し人件費が増加した。また、感染対策にかかる経費等も増加したが、純利益が出ていることから、収入状況は良好であると判断できる。

感染症対策 コメント

本市の新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる要請について、速やかに対応できていた。また、本市が示す「新型コロナウイルス感染症との共存を踏まえた公共施設運営の目安」を徹底し、環境整備を実施し、良好なサービスを提供できている。イベントについても、感染対策を行いながら前年度よりも内容を深めたレクリエーションを行い、行事ごとに工夫を凝らして利用者が楽しめるよう開催できており、良好であると評価した。

市による総合評価 コメント

当指定管理者は、利用者やその家族のニーズ把握に努めるために、アンケート調査を実施しており、そのアンケート調査で把握したニーズを踏まえ、利用者の増加及び利用者の満足度の向上について取り組んでいる。また、障がい者の高齢化等により障がい程度の重度化に対応すべく、職員研修や個人情報保護のために行う月に1度の全体ミーティング等を通じ、職員同士の情報共有を行っている。今後においても職員体制を強化し、障がい児（者）が適切な支援を受けることが可能となる事業運営・展開を期待する。

その他に、地域の障がい児（者）施設では受入れが難しい医療的ケアが必要な障がい児（者）や重症心身障がい児（者）を率先して受入れており、今後もサービス向上や重症心身障がい児（者）の生活を守る役割を期待する。

新型コロナウイルス感染症が依然流行する中、職員の手洗いうがいやマスクの着用、設備の消毒、検温及び定期的な換気等の対策を継続し徹底したことにより、通常通りに運営されたことや、毎年開催している行事については中止または縮小して開催するのか検討し、前年度よりも内容を深めたレクリエーションを行うことにより、行事をきっかけとし利用者数が増加傾向にある点について評価する。

今年度も送迎車両の物損事故が見受けられたため、利用者の送迎に関してはさらなる安全運転の徹底や研修等での運転技術の向上を求める。以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおりに施設運営されていると判断した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった